

(表紙)

社会資本総合整備計画

中心拠点地区の学びの環境と賑わいの創出

(第1回変更)

北海道釧路市

平成28年12月19日

社会資本総合整備計画

平成28年12月19日

計画の名称	中心拠点地区の学びの環境と賑わいの創出			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成27年度～平成29年度（3年間）	交付対象	釧路市		
計画の目標					

中心拠点地区において、持続可能な都市構造への再構築を図るため、公共施設等の集積を図るとともに、学びの拠点づくりを進め、当該エリアにおける賑わいの創出を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	・学びの拠点形成への効果を把握するため、市立釧路図書館の開館日の利用者数を79,460人(H25)から82,000人(H29)に増加させる。 ・学びの拠点形成への効果を把握するため、市立釧路図書館のイベント・企画の増加に対する満足度を55.8%(H25)から60.0%(H29)に増加させる。 ・当該地域における交流人口増加の効果を把握するため、地域交流センターの開館日の利用者数を、当初想定14,700人から16,000人（H29）に増加させる。 ・当該地域における賑わいの創出の効果を把握するため、北大通の8ポイントの歩行者数を10,071人(H22)から12,000人(H29)に増加させる。
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
市立釧路図書館の開館日の利用者数 複合施設の一つである市立釧路図書館の開館日の利用者数を計測する。	(H25) 79,460人	(H27末) 80,000人	(H29末) 82,000人	
市立釧路図書館の開館日の利用者数 複合施設の一つである市立釧路図書館の満足度（イベント・企画の増加）を計測する。	(H25) 55.8%	(H27末) 57.0%	(H29末) 60.0%	
地域交流センターの利用人数の利用者数 地域交流センターの開館日の利用者数を計測する。	当初想定値 14,700人/年	-	(H29末) 16,000人/年	
北大通の歩行者数 複合施設周辺地域の1日の歩行者数を計測する。	(H22) 10,071人/日	(H27末) 11,000人/日	(H29末) 12,000人/日	

全体事業費	合計 (A + B + C + D)	1,282百万円	A	1,265百万円	B		C	18百万円	D	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	1.38%
-------	-----------------------	----------	---	----------	---	--	---	-------	---	-----------------------------------	-------

交付対象事業

A 其餘事業	
--------	--

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
1-A	都市再生	北海道	釧路市	直接	釧路市	釧路中心拠点地区都市再生整備事業 ・都市再構築戦略事業 ・道路事業 ・既存建造物活用事業 ・高質空間形成施設事業	・中心拠点誘導施設 (A=5,289.48㎡) ・案内標識設置 ・高次都市施設 (A=363㎡) ・図書館周辺歩道整備	釧路市						1,264.5			

[illegible][illegible][illegible][illegible]

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C	効果促進事業	
---	--------	--

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-C-1	都市再生	北海道	釧路市	直接	釧路市	事業活用調査	釧路中心拠点地区内動向等調査	釧路市						7.7	
1-C-2	都市再生	北海道	釧路市	直接	釧路市	事業活用調査	都市構造に関する基礎調査費	釧路市						10.0	

[illegible]

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

1-C-1	図書館は年間11万人の利用がある施設であり都心部に整備することで当該地域の活性化及び賑わいの創出に大きく寄与することが見込まれることから、その効果を検証するため、図書館の整備開始年の平成27年度と完成年度の平成29年度、そしてその中間年の平成28年度の各年において、図書館の立地する都心部の歩行者数や交通量を調査する。
-------	---

1-C-2	図書館を都心部に整備することは、当該地域の活性化及び賑わいの創出に大きく寄与することが見込まれるとともに、都市機能の集約化・適正配置化が図られ、都市のコンパクト化の推進にも寄与するものである。今後、さらなる施設の集約化や適正配置化、公共交通の再編等を推進し、持続可能な都市経営を図る必要な取組を実施するために、都市構造に関する基礎調査を実施する。	
-------	---	--

D	社会資本整備田舎化地籍整備事業	
---	-----------------	--

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

問 2	1000円×2人＝2000円が1人につき1000円ずつ	1000 円
問 3		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	26.7	112.3			
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0			
交付額 (c=a+b)	26.7	112.3			
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0			
支払済額 (e)	26.7	112.3			
翌年度繰越額 (f)	0.0	0.0			
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面) 市街地整備図

